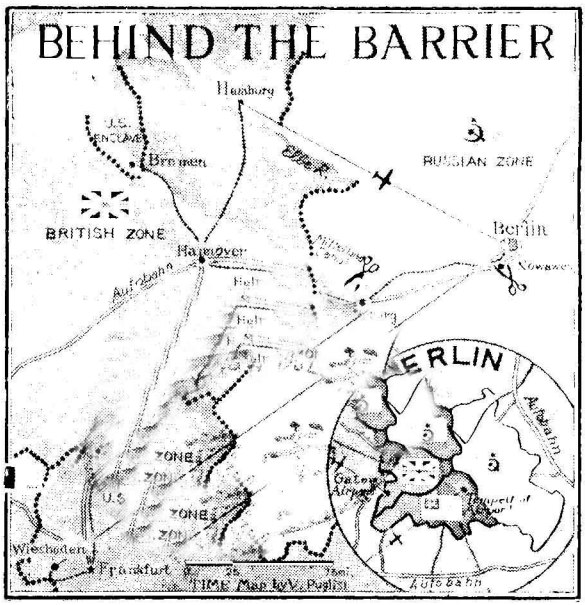
僕らはごめんだ

東西ドイツの青年からの手紙

篠原正瑛



Courtesy TIME Magazine
Copyright TIME Inc., New York, 1948

昭和二十七年四月十五日　初版発行
昭和二十七年六月十日　六版発行

定価　二二〇円

僕らはごめんだ
東西ドイツの青年からの手紙

編著者　篠原正瑛

発行者　神吉晴夫

印刷者　山元正宜

印刷所　三晃印刷株式会社
東京都文京区柳町二六

発行所　株式会社　光文社
東京都文京区音羽町三ノ一九
電話九段(33)一三一一一三九
振替東京一一五三四七番

（関川製本）

Meinen deutschen Freunden
aus unserer gemeinsamen, schicksalschweren
Leidenszeit

苦悩多き運命をともにした
ドイツの友人たちに

著者紹介

一九一二年、東京都港区に生まれた。
一九三九年、上智大学文学部哲学科を卒業、同年、ドイツのアレキサンダー・フォン・フンボルト奨学金による日独交換学生としてドイツへ留学、ベルリンおよびイエナの両大学において、ドイツ哲学を専攻した。一九四四年九月から四五年のドイツ降伏直前まで、北ドイツ・テムプリン市のドイツ国立ヨアヒムスタール・ギムナジウム（八年制の人文科高等学校）において、日本語科教授として日本語ならびに日本文化の講義を担当した。一九四五年三月二十八日、ソ連軍に包囲される直前のテムプリン市を脱出、ハンブルクの日本総領事館へ向かったが、途中、英・米連合軍に捕えられ、ナチス戦犯・集団抑留所に送られた。抑留三ヵ月にして発病、ヘノーヴァーの衛戍病院、さらにブレーメンの衛戍病院に収容された。その間、肺結核と腸結核を併発してたびたび重態におちいったが、四七年スイスに移送され、ダヴォースのサナトリウムで療養、抑留いらい病院生活三年半、ついに重患を克服して、四九年三月、ジュネーヴより空路、地中海・印度洋経由で、十一年目に日本へ帰った。

主著・訳書、『敗戦の彼岸にあるもの』（一九四九年）弘文堂、シュプランガー『文化病理学』（一九五〇年）弘文堂、シュプランガー『たましいの魔術』（一九五一年）岩波書店

現住所　東京都品川区東戸越一丁目五三九番地

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongb

目次

ベルリン・西地区のフリーデル・シュミットから著者へ（一九四九・一一・七）……九
ベルリン・西地区のデートレフ・シュミットから著者へ（一九四九・一一・一〇）……一三
西ドイツ・ヴィルズハウゼンのゴットフリート・マイヤーから著者へ（一九五〇・一・二〇）……一七
西ドイツ・シュツットガルトのフリーダ・カウフマンから著者へ（一九五〇・五・二六）……三
ベルリン・西地区のヴァルター・ザイフェルトから著者へ（一九五〇・一〇・二三）……二六
西ドイツ・ブレーメンのクルト・フライシャーから著者へ（一九五一・二・一七）……三三
著者からクルト・フライシャーへ（一九五一・三・一〇）……三九
西ドイツ・ブレーメンのクルト・フライシャーから著者へ（一九五一・四・二）……四四
ベルリン・西地区のアンネローレ・クニットマイヤーから著者へ（一九五一・五・二三）……五一
著者からアンネローレ・クニットマイヤーへ（一九五一・六・一一）……五五

川越図書館

ベルリン・西地区のアンネローレ・クニットマイヤーから著者へ（一九五一・六・二九）……五九
著者からアンネローレ・クニットマイヤーへ（一九五一・七・一四）……六三
ベルリン・西地区のアンネローレ・クニットマイヤーから著者へ（一九五一・八・二）……六七
著者からクルト・フライシャーへ（一九五一・八・五）……七〇
西ドイツ・ブレーメンのクルト・フライシャーから著者へ（一九五一・八・一九）（青写真について）……七四
著者からヴィルヘルム・シュテークマンへ（一九五一・八・二八）……八三
東ドイツ・ライプチッヒのヴィルヘルム・シュテークマンから著者へ（一九五一・九・八）……八八
ベルリン・西地区のヴァルター・ザウマンから著者へ（一九五一・九・九）……一〇〇
著者からヴァルター・ザウマンへ（一九五一・九・二七）……一〇六
著者からクルト・フライシャーへ（一九五一・九・二九）……一一三
著者からヴィルヘルム・シュテークマンへ（一九五一・九・二九）……一二五
ベルリン・西地区のアンネローレ・クニットマイヤーから著者へ（一九五一・九・三〇）……一二八

著者からアンネローレ・クニットマイヤーへ（一九五一・一〇・二〇）……二六
西ドイツ・ブレーメンの
クルト・フライシャーから著者へ（一九五一・一一・一九）……二三
東ドイツ・ライプチッヒの
ヴィルヘルム・シュテークマンから著者へ（一九五一・一二・一二）……二五
ベルリン・西地区の
アンネローレ・クニットマイヤーから著者へ（一九五一・一二・二〇）……二五
著者からアンネローレ・クニットマイヤーへ（一九五二・一・三）……二六
西ドイツ・ヴィルズハウゼンの
ゴットフリート・マイヤーから著者へ（一九五二・一・一〇）……二九
著者からゴットフリート・マイヤーへ（一九五二・一・二三）……二四
西ドイツ・ブレーメンの
クルト・フライシャーから著者へ（一九五二・二・三）……二八
東ドイツ・ライプチッヒの
ヴィルヘルム・シュテークマンから著者へ（一九五二・二・一九）……二六
東ドイツ・ライプチッヒの
ヴィルヘルム・シュテークマンから著者へ（一九五二・二・二四）……二三
西ドイツ・ブレーメンの
クルト・フライシャーから著者へ（一九五二・二・二九）……二九
あとがき……二五

本書巻頭の東西ドイツ境界の地図は、米誌「タイム」本社の好意により同誌一九四八年四月十二日号より転載許可を得たものである。

なお本書中掲載の写真の大部分は、UPおよびユーロピアン・ピクチュア・サーヴィスよりの提供によるものである。

僕らはごめんだ

——東西ドイツの青年からの手紙——

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongb

○

シノハラさん！

じつは、もっともっと早くお手紙をさしあげようと思っておりましたのよ。でも、あなた自身がよくご存じのように、いまのドイツはほんとうに、みじめな状態におかれているのです。そのうちでもベルリンは、それはそれはひどいの。たれもかれもが、生きてゆくのに必要な最少限度のパンのために働くことだけで、もうヘトヘトに疲れきってしまっていて、わずか手紙一本書くのだって、それは並たいていのことではありませんわ。

シノハラさん、あなたのおからだの工合はいかがです？　終戦になってから四年近くもの長いあいだドイツで抑留生活や病院生活をお送りになったあなたは、よほどおからだを大切になさらなければいけません。とくに、ムリなお仕事やご勉強をなさらないように。

病気といえば、わたくしも去年、大病をしてしまいました（このことは、このまえのお手紙でもちょっと申しあげましたわね）。人間にとって健康というものがどんなに大切なものであるか、こんな時代になって、いまさらのように身にしみて分かりました。でも、ほんとうのことをいえば、わたくしなんか、いっそのこと、ひと思いに死んでしまった方がよかったかもしれません。こんなおそろし

川越図書館

い時代に生きてゆくことなんかに、わたくしはちっとも喜びなど感じてはおりません。でもねえ、シノハラさん、かわいそうなひとり息子のデートレフのことを考えると、やっぱりまだわたくしは死んでしまうわけにはゆきません。かわいそうなデートレフ……。デートレフは、いま、はたらいています。あのおそろしい戦争さえなかったら、父親だってまだまだ健在ですし、なんの不自由もない平和な家庭でデートレフは、すきな学業にいそしんでいられたのです。こんなおそろしい不幸、いいえ、もっともっとおそろしい不幸が、いまのドイツには何十万、何百万となくあるのですわ。みんな、戦争がつくった不幸……。

シノハラさん、ほんとうになんていやな世の中になってしまったのでしょう。人間のこころが、すっかり変わってしまいました。正しい、すぐれたたましいをもった人間を見つけることが、だんだんむずかしくなってきました。ほんとうに悲しい、いやな世の中……。生きることに希望も喜びも見出すことのできない世の中に、しかも、なお生きてゆかなければならないことほど、こんなにも残酷でみじめなことが、いったい、ほかにあるでしょうかしら……。シノハラさん、日本でもドイツとおなじこと？

それでも、終戦直後のころとくらべますと、ドイツもずいぶんよくはなってまいりました。きれいな店には品物が山のように積まれてありますし、劇場とかコンサートなども、どこもかしこも押すな押すなの盛況ぶりです。でも、ドイツの大部分の人たちにはお金がないのです。ゼイタクな品物を買ったり、きらびやかな劇場やコンサートへ行ったりすることのできるのは、ドイツ人のうちのごくわずかな人たちでしかありません。大部分のドイツ人は、その日その日をどうにか生きてゆくだけが、精

(UP－サン)

いっぱいなのです。しかし、わたくしたちドイツ人のこんなにまでみじめな生活も、もとはといえば、ドイツが西と東の二つに分裂して（いいえ、分裂してではなく、分裂されてが正しいのです）しまっていることに、その大半の原因があるのです。わたくしたちのただ一つの願いは、一日も早くドイツがふたたび一つになってほしいということだけ。そうすれば、わたくしたちの生活ももっと楽に、もっと楽しく、もっと人間らしいものになることができるのですわ。やれ自由がどうだとか、デモクラシーがどうだとかいうような、わたくしたちドイツ人の現実の生活にとって何の意味もない屁理窟は、もうたく

【写真説明】 冬が近づく一九四九年のベルリン。零下二十度をくだるベルリンでは、暖房の用意をすることが主婦たちにとって大きな悩みです。しかも、ソ連の封鎖の影響もあって、西ベルリンでは石炭は配給制になり、必要な分量の半分ももらえません。それで、ヤミの石炭を買う余裕のない家庭では、郊外の森や林から、マキを工面してこなければならないのです。

さんです。〝スローガンの政治〟には、わたくしたちドイツ人はもうコリゴリです。でも、分裂されていないという点だけでも、まだ日本はドイツよりもはるかに仕合わせですわ。その点だけでも、わたくしたちドイツ人はみな、日本をうらやましく思っています……。

あなたも、どうかおからだをお大事になさってくださいね。わたくしも、いつかあなたとお約束したように、いちど日本へ行ってみたいと思います。しかし、いまのようなドイツの状態で、しかもわたくしのようなお婆さんになってしまったのでは、もうその望みもなくなってしまいました。でも、シノハラさん、あなたはまだまだお若いのですから、どうかもういちど、あなたの大すきなドイツにいらっしゃってくださいね。わたくしとデートレフは、どこへ引っ越しても、かならず一部屋をあなたのために空けてお待ちしています……。

一九四九年十一月七日

ベルリン・ダーレム〔西地区〕にて

フリーデル・シュミット

【註】フリーデル・シュミットさんはベルリンの爆撃で夫君を失い、ひとり息子のデートレフ君（十八歳）と二人でくらしています。今年五十三歳になります。デートレフ君は、著者がドイツに滞在中、終戦直前まで奉職していた国立ヨアヒムスタール・ギムナジウム（かつてのわが国の七年制高等学校に相当するものです）の日本語科の生徒でした。

○

シノハラ先生！

お母さんの手紙、とどきましたか？　先生からのなつかしいお便り、お母さんとぼくは、ほんとうにうれしく拝見いたしました。先生がお元気でいらっしゃることは、ぼくたちにとって何よりの喜びです。ぼくは、日本語の教科書もノートも戦争で失ってしまい、先生に教えていただいたアイウエオや読方や書方もほとんど忘れてしまいましたが、先生のことと日本のことだけは、いつまでも忘れません。

先生のお手紙によりますと、ドイツの復興がめざましいということが日本の新聞でたびたび報道されているそうですね。なるほど、うわべだけを見れば、たしかにドイツはかなり復興したように見えます。ほしい品物は、戦前をしのぐほどのゼイタク品にいたるまで何でもありますし、遊ぶための施設にいたっては、およそ戦前では想像もつかなかったにちがいないと思われるものまで、つくられています。しかし、食うや食わずのギリギリの生活を送らなければならない大部分のドイツ人にとって、そんなものが、いったい何になるのでしょう……。

先生に日本語を教えていただいていたころは、ぼくは、うんと日本語を勉強して大学に入り、将来

は外交官になつて、ぼくの大すきな日本へ行くつもりでいました。しかし、いまのぼくの家には、もうそんな余裕なんかありません。ぼくは終戦の翌年にギムナジウムをやめて、いまは、むかしぼくのお父さんが関係していた会社で働いています。でも、これだけでは収入がたりないので、夕方から二時間、ある貿易業者のところで手つだいのアルバイトをしています。

先生のいらつしゃつたヨアヒムスタール・ギムナジウムのあつたテムプリンの町は、ソ連軍の進駐によつて、すべてがメチャメチャに破壊されてしまいました。ぼくは、終戦の翌年の末までテムプリンに住んでいました。先生とは、とくべつに仲のよかつたザウマン先生が、よくぼくに、「デートレフ、シノハラ先生のいた下宿には、いまはソ連の将校が住んでいるんだ。ついこのあいだまで、もの静かな日本人の哲学者シノハラ先生が独り静かに哲学にふけつていた部屋で、いまはソ連の野蛮人ども（ザウマン先生はソ連が大きらいなんです）が、毎日のように酔つぱらつては、ドンチャンさわぎをしているなんて、じつに感慨無量だなあ」と、おつしやつていました。ぼくは、べつにソ連が大きらいというのでもないのです。でも、どうしてソ連軍はドイツの住民にたいして、あんなにひどいことをしたのでしょう。ソ連になんらの反感をもつていなかつた人間でも、ソ連軍のやつたことを見ると、ソ連占領下の東ドイツに住むことなんか、とてもできない、と考えるようにならざるをえないのです。

ぼくたちドイツにとつての唯一の願いは、一日も早くドイツが統一されるように、ということだけです。現在のドイツにとつての不幸の大部分は、西ドイツと東ドイツの分裂と対立とから来ています。そしてこの二つのドイツの分裂と対立とは、もちろん、アメリカとソ連という二つの世界の、お

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongb